

Takashima Toujyu Kai

会報



No. 33

2023.9.15

# 高島藤樹会

(題字は、竹脇曇卿先生によるものです)

発行  
NPO法人 高島藤樹会

〒520-1224  
滋賀県高島市安曇川町上小川225-1  
藤樹書院・良知館内  
電話・FAX 0740(32)4156  
http://takashima-tojukai.com/

## 近江聖人中江藤樹先生に出会って

監事 西澤幸夫



藤樹会に入会させていただいたのは二〇一六年だったと思います。当時は滋賀県レイカ

ディア大学（滋賀県のシニア大学）を卒業した時でした。レイカディア大学においてグループで文集を作るとき「琵琶湖の宝を世界に発信」と銘打って「中江藤樹先生」と「大石義民」について取組みました。中江藤樹先生について調べているとき、なぜ近江聖人と呼ばれるのかを疑問に思いましたが、調べても解らずそのままになっていました。

藤樹人間学塾でお世話になり八年が経ちます。藤樹先生の本を勉強していると、その時は読むことも難しく、ましてや内容を理解できませんが、なんとなくぼんやりと覚えていることがあり、別の場所ですとした時にその言葉や事象に出会うことがあります。すると途端にその言葉が気になり、本のどこに書いてあったかを探し、ネットで検索します。そうすることでおぼろげに意味がわかり、更に当時の武士や庶民の生き方など時代背景がみえてきます。塾長が「その時は理解できなくても続けていると、じんわりしみ入ってきます」と云われていますが、まさに

その事だと思えます。



令和五年の常省祭に参加した時に頂いたプリントに「自反慎独」という言葉がありました。以前習った藤樹先生の本にも書いてあったことを思い出しました。良知館に「自反慎独」が掲げられてあります（写真）。藤樹先生は日々反省し一人の時は特に慎んだ行動や心構えが重要と教えられていると思います。もつと深い解釈はありますが、私にとつてはあり余る教えであり、これからの高齢期を生きる指針にしたいと思っています。

私は消費生活アドバイザーとして消費生活について啓発活動をしています。その中の一つがエシカル消費の推進です。「エシカル」とは「倫理的・道徳的」の意味で、エシカル消費とは「人や社会、地域、環境等に配慮した消費行動」のことです。藤樹先生は消費のことでなく生活全体において慎独することを薦められています。エシカル消費はモノに対する消費の考え方を示していますが、藤樹先生はモノからコトに至るまで日常生活全般の行動を説かれました。すなわちエシカル生活を推進されていたんだと思います。今、SDGsは世界のトレンドです。SDGsの推進にエシカル生

活は重要な事だと思えます。藤樹先生が江戸時代初期にSDGsの行動規範を説かれていることは驚きです。地球のすべての人が特に先進国の人々がエシカル生活を実践すればSDGsの目標「誰も取り残さない持続可能な社会」に近づけると思っています。

八月の藤樹人間学塾において内村鑑三氏の「代表的日本人」が話題になりました。その中に近江聖人として中江藤樹先生が紹介されています。その説く所は、身分の上下を越えた平等思想に特徴があり、武士だけでなく、農民、商人、職人にまで広く浸透し、江戸中期頃から自然発生的に「近江聖人」と称えられたとのこと。藤樹先生を仰ぐ人それぞれが「近江聖人の教えを日々の生活に活かす事が重要」と思う今日この頃です。更に、藤樹会に入会したおかげで充実した高齢期を送ることが出来ていることに感謝しています。

(二〇二三年八月)



「念ずれば花開く」

大洲藤樹会交流会旅行で立ち寄った  
坂村真民記念館

2022年11月